

## 平成 20 年度政府予算提言・要望

国の平成 20 年度予算編成に向けて、県土整備部では、平成 19 年 10 月 17 日（水）に、国（財務省・国土交通省）及び県選出国会議員に対して要望活動を行いました。

達増知事を先頭に行われた今回の要望は、災害復旧及び道路整備等に関する内容が中心となっており、県では今後も安全で安心できる県土の実現を推進するとともに、道路ネットワークなどの県民生活や経済・社会活動を支える基盤整備を計画的に進めていきます。

### ◇要望事項◇

9月7日の台風9号及び9月16日から18日にかけての豪雨による災害への支援及び北上川上流等の治水対策の促進について

9月7日の台風9号により、一関市、奥州市、西和賀町など15市町村で260箇所、また9月16日から18日にかけての豪雨により、八幡平市、二戸市、雫石町など23市町村で473箇所、あわせて県内全35市町村のうち31市町村で733箇所が激甚な被害を受けています。

また、今回の洪水では、北上川上流域においてカスリン・アイオン台風以来最大となる水位となりましたが、現在までに60年間に及ぶ堤防整備や五大ダム整備などにより、北上川上流沿川の浸水被害は確実に軽減したところであり、これまでの河川整備に深く感謝申し上げます。

しかし、多くの無堤箇所の家屋や田畑の浸水被害が発生し、県民生活に多大な影響を及ぼしたところでもあります。

つきましては、民生の安定と公共の福祉の増進を図るため、災害復旧事業及び改良復旧事業による早期復旧ならびに北上川上流等の治水対策の促進について特段のご配慮をお願いします。



一関遊水地の状況(9月18日)



要望を行う達増知事

### 道路整備財源の確保と高規格幹線道路等の整備促進について

東北横断自動車道釜石秋田線遠野～東和間や三陸縦貫自動車道釜石山田道路、国道4号花巻東バイパス等本県の道路整備の推進にご尽力頂き、感謝申し上げます。

道路は、県民生活や経済・社会活動を支える最も基礎となる社会基盤であり、活力ある地域づ

くりを推進し、安全で安心できる県土の実現のため、計画的に整備していくことが重要です。

特に、本県は、首都圏の一都三県に匹敵する広大な面積を有しており、移動手段を自動車に依存せざるをえない状況にあります。高規格幹線道路ネットワークをはじめとする道路の整備がまだ遅れています。

このため、産業振興を支援する高規格幹線道路等の整備、救急救命医療機関へのアクセス性の向上、災害時における救援物資等を輸送する経路の確保、また、老朽橋の計画的・効率的な修繕や架替えなどが重要な課題となっています。

つきましては、道路整備の中期計画の作成にあたっては、地方の声や道路整備の実情を十分踏まえ、地方が真に必要な道路整備を計画的かつ着実に進めるため、道路整備財源の確保など次の事項について特段の御配慮をお願いします。

## 1 道路整備財源の確保について

- (1) 「真に必要な道路整備」を着実に進めるためには、財源の確保が必要であり、道路特定財源については道路整備のための財源として確保すること。
- (2) 地方公共団体への配分割合を高めること等により、地方公共団体における道路整備財源の拡充を図ること。
- (3) 「地方道路整備臨時交付金制度」については、効果的、効率的な地方道の整備が可能であることから、平成20年度以降も継続すること。

## 2 高規格幹線道路等の整備促進

高規格幹線道路等については、ネットワーク化されてはじめて本来の機能を発揮するため、「中期計画」の整備目標に高規格幹線道路等の早期ネットワーク化を位置付け、全区間の開通を図ること。

- (1) 東北横断自動車道釜石秋田線について
  - ・「遠野～東和間」の早期供用
  - ・「釜石～釜石西間」「遠野住田～遠野間」の早期事業化
- (2) 一般国道の自動車専用道路について
  - ・三陸縦貫自動車道の整備促進
  - ・八戸・久慈自動車道の整備促進
- (3) 地域高規格道路について
  - ・三陸北縦貫道路の整備促進
  - ・宮古盛岡横断道路の整備促進



早期完成が待たれる東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～東和間」



(釜石西インターから釜石側を見る)